

『バルブは“ゆっくり”開閉する』



高圧酸素配管のバルブを急に開けると下流側では衝撃的な圧縮が行なわれ、配管終端に高温部が発生して発火や爆発などの事故につながるため、「バルブはゆっくり開ける」ことが厳しく指導されています。

バルブが開かれた時に配管の下流側ではどのような現象が起きているかについての当協会の数回の実験の結果を取りまとめて紹介しました。

酸素による管内樹脂の挙動、アルゴンガスによる小径配管の内径、長さ、流量（オリフィス径）による温度上昇速度、最高到達温度等を確認しました。また付録に「小容器充填」における内部温度の確認も収録しました。

価格 **4,637** 円(税抜) ※ 実験報告書添付、送料別

収録時間 **約 20 分**

お申込は下記用紙にご記入の上 FAX、又はお電話でも受けつけております。

『バルブは“ゆっくり”開閉する』			
ご注文日	令和 年 月 日	ご入用数	枚
ご購入 事業所名	ご担当 部署・ 氏名		
ご住所 連絡先	〒 - TEL () FAX ()		
お支払 方法	<input type="checkbox"/> 現金書留等 <input type="checkbox"/> 振込 りそな銀行 大阪営業部 普通口座 6246471 一般社団法人 大阪府高圧ガス安全協会		

本用紙をお送り頂きましたら、「価格」と「送料」を記した請求書をお送り致します。
振込の場合には振込証明書のコピーを FAX ください。DVD と報告書をお届けします。

お問合せ・お申込
はこちらから

一般社団法人 大阪府高圧ガス安全協会 〒541-0047 大阪市中央区淡路町1丁目4-10 森井ビル2F
TEL **06-6229-1236** FAX **06-6229-3741** e-mail.info@daiankyo.or.jp